

# 東日本大震災関係の奨学金

平成30年2～4月調べ

団体名 事業名	採用人数・条件等	貸与 給付	募集区分・月額(円)	募集時期	併用 可否	返還 期間	備考
<p>公益財団法人 岩手育英奨学会</p> <p>高校奨学事業 (タイプC：震災特例)</p> <p>岩手県盛岡市内丸10-1 岩手県教育委員会事務局 教育企画室内 019-623-2050 <a href="http://www.iwate21.net/ikuei-syougaku/">http://www.iwate21.net/ikuei-syougaku/</a></p>	<p>・採用は該当者すべて ・岩手県内に住所を有する者の子女であること。</p> <p>【在学採用】 東日本大震災津波により被災した高等学校又は専修学校(高等課程)の生徒で次のいずれかに該当する者 ①家計支持者の住居する家屋の全壊・大規模半壊・半壊・全焼・半焼 ②家計支持者の死亡・行方不明 ③家計支持者の勤務先等が被災したことによる家計急変(収入が3分の2程度に減少)</p>	貸与 (無利子)	<p>高等学校等</p> <p>国公立(自宅) 18,000 国公立(自宅外) 23,000 私立(自宅) 30,000 私立(自宅外) 35,000</p>	4月～10月	○	14年以内	<p>※返還免除要件 卒業後向こう1年間の収入見込額が基準額以下の場合。 高卒 320万円 短大卒 370万円 大学卒 410万円</p>
<p>岩手県教育委員会</p> <p>いわての学び希望基金奨学金</p> <p>岩手県盛岡市内丸10-1 岩手県教育委員会事務局 教育企画室 019-629-6108</p>	<p>定員なし</p> <p>東日本大震災津波により岩手県内に住所を有した親が死亡し、又は行方不明となっている者</p>	給付	<p>大学等(自宅) 60,000 大学等(自宅外) 100,000</p> <p>高等学校・高等専門学校・中等教育学校(後期課程)・専修学校(高等課程)・一般課程)・各種学校 50,000</p>	<p>新規：5月 継続：4月</p>	○	-	<p>高等学校等の卒業時に一時金給付有 ※小中学生への奨学金給付有</p>
<p>宮城県教育委員会</p> <p>東日本大震災みやぎこども育英基金奨学会</p> <p>宮城県仙台市青葉区本町3-8-1 宮城県教育庁総務課総務班 022-211-3611</p>	<p>採用人数：上限なし</p> <p>①震災により保護者を亡くした者で、震災時に満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にあった者であること。 ②上記保護者が、震災時に宮城県内に住所を有していた者であること。 ③高等学校及び大学等に在籍している者であること。</p>	給付	<p>大学・専修(専門課程) 30,000</p> <p>専修(高等課程)・高校(中等教育学校(後期課程)及び特別支援学校(高等部)を含む) 20,000</p>	<p>新規：随時 継続：4月中</p>	○	-	<p>高校卒業一時金制度有 ※小中学生への奨学金給付有</p>
<p>宮城県教育委員会</p> <p>宮城県高等学校等育英奨学資金貸付(被災生徒奨学資金)</p> <p>宮城県仙台市青葉区本町3-8-1 宮城県教育庁高校教育課管理運営班 022-211-3716</p>	<p>保護者が宮城県内に住所を有し(保護者が県外に一時避難している場合も含む)、東日本大震災により、下記のいずれかに該当し修学困難となった生徒 ・家屋が全壊(焼)・大規模半壊・半壊(焼)又はこれに準ずる災害(原子力発電所の事故に伴い警戒区域等に住居して避難した場合を含む)をした場合 ・主たる家計支持者が死亡、行方不明等の場合 ・主たる家計支持者の収入が概ね2分の1以下に減収 ・上記の他、校長が特に必要と判断し宮城県教育委員会が認めた場合</p>	貸与 (無利子)	<p>専修(高等課程)</p> <p>高校(中等教育学校(後期課程)及び特別支援学校(高等部)を含む) 20,000</p>	7月～12月	○	10年程度(最大13年)	<p>※償還免除制度有(高等学校等を卒業した場合等)</p>

# 東日本大震災関係の奨学金

平成30年2～4月調べ

団体名 事業名 お問い合わせ先	採用人数・条件等	貸与 給付	募集区分・月額(円)	募集時期	併用 可否	返還 期間	備考
福島県教育委員会 福島県奨学資金 (震災特例採用) 福島県福島市杉妻町2- 16 福島県教育庁 高校教育課 024-521-7775	定員なし 保護者が福島県内に住所を有し、東日本大震災により被災(家屋の全半壊・警戒区域等からの避難、主たる家計支持者の死亡等)したことにより、修学困難な状況にある生徒	貸与 (無利子)	国公立自宅 18,000 国公立自宅外 23,000 専修 (高等課程) 私立自宅 30,000 私立自宅外 35,000	5月	×	6ヶ月後概ね12年以内(貸与総額により異なる) ※	※震災特例に限り、卒業後収入見込みが一定額を超えない場合は返還義務免除
公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団 毎日希望奨学金 東京都千代田区 一ツ橋1-1-1 03-3213-2674 http://www.mainichi.co.jp/shakaijigyo/	約50人程度 震災で保護者が死亡・行方不明になった高校生・高専生・短大生・大学生・専修学校生・大学院生(修士課程)	給付	大学院 大学 短大 専修 高専 高校 20,000	3月初旬～4月下旬	○	—	申請書はHPからダウンロード可